

2024/03/23

SPP41 現地実行委員会委員長 赤塚洋  
(東京工業大学)

## 第 41 回プラズマプロセッシング研究会(SPP41) 報告

1. 会議名称：第 41 回プラズマプロセッシング研究会(SPP-41)
2. 主催： 応用物理学会 プラズマエレクトロニクス分科会  
(従来と異なり、旧 学術振興会 153 委員会による SPSM とは、切り離して開催)
3. 協賛学会：プラズマ・核融合学会、静電気学会、日本表面真空学会、電気学会、日本物理学会、表面技術協会
4. 期間：令和 6 年 1 月 23 日 (火) ~25 日(木)
5. 場所：東京工業大学 大岡山キャンパス 現地開催のみ  
(リモート参加は招待講演者のうちやむを得ない方のみ)
6. 参加人数：合計 115 名  
内訳：一般 66 名、学生 33 名、招待 14 名、リモート招待 2 名
7. 講演件数：64 件  
内訳：プレナリー 1 件 (日立ハイテク 伊澤勝 様)、プラズマ材料科学賞 2023 受賞記念講演 1 件 (名古屋大学 豊田浩孝 先生)、招待講演 5 件 (うち 1 件は 2022 年プラズマ材料科学賞受賞記念講演(大阪公立大学 白藤立 先生))、シンポジウム講演 10 件、一般講演 47 件 (口頭 23 件、ポスター 24 件)
8. セッションの具体的運営：
  - ◎オープニング：SPP41 プログラム委員会委員長 (プラズマエレクトロニクス分科会副幹事長) 上坂裕之 先生、現地実行委員会委員長 赤塚洋
  - ◎全体講演件数が少なく、パラレル進行にせず、全ての講演をシングルセッションにて。
  - ◎初日午後、特別企画シンポジウムとして、「半導体プラズマ人材育成の緊急性と大学への要望 (全 10 講演)」を開催。
  - ◎2 日目午前の前半に「プラズマ材料科学賞 2023 授賞式」および受賞記念講演を実施 (司会 名城大学 伊藤昌文 先生)。
  - ◎3 日目クロージング：ご挨拶 プラズマエレクトロニクス分科会幹事長 白藤立先生
9. 懇親会：初日講演終了後 有料参加人数 35 名
10. コーヒーブレイク：全 4 回 (初日午後、2 日目午前・午後、3 日目午前)
11. プラズマエレクトロニクス講演奨励賞 (第 3 回)：23 件の応募、SPP41 プログラム委員会による厳正な審査の結果、プラズマエレクトロニクス講演奨励賞 (第 3 回) として、令和 6 年 1 月 25 日付けで、以下 2 件が受賞決定：
  - 赤塚勇大 (名古屋大学) 「On-Off および High-Low 変調 VHF プラズマにおけるキャピラリープレート底部の電荷蓄積挙動比較」
  - 石健太 (東京工業大学) 「誘導結合窒素プラズマ中の励起状態数密度と電子温度の関係性に関する

る議論」

なお、一次審査として申込講演毎に 3 名による書類審査で 7 件に絞り込み、当日の二次審査で、一次審査通過の 7 件に対し各 3 名による発表審査を経ている。

12. WEB サイト運営および参加料徴収関係：田中昭文堂印刷（金沢市）に委託、カード決済を基本（インボイス対応のため、現地委員会は現金にタッチしない方式を今回は選択）
13. 広告出社：合計 11 社様より（1 ページ広告 9 社、1/2 ページ広告 2 社）
14. 決算報告：別紙（配布しないことをご容赦ください；現地での投影のみ；必要な方は委員長赤塚宛、ご一報ください）
15. そのほか
  - 基本的な運営方針は、現地開催を除けば、内田儀一郎先生 委員長の SPP39/ SPSM34 と同一
  - 現地開催の基本方針は、2019 年 1 月の八田章光先生 SPP36/SPSM31 にならった
  - 会計に関するインボイス対応に最も腐心、代行業社として実績ある田中昭文堂印刷様が、事情をよくご承知、価格もリーズナブルゆえ、選定
  - 大きな黒字運営の主たる要因は、広告出社企業様が、多数出稿して下さったこと
  - 現地委員の負担はできるだけ低減させるため、名札も手書きなど、アナログが使えるところはアナログで
  - 特別企画シンポジウム「半導体プラズマ人材育成の緊急性と大学への要望」については、堀勝先生、白谷正治先生、伊藤昌文先生、上坂裕之先生のご発案・調整によるところが極めて大です。ありがとうございました。
  - 講演件数の少なさゆえ、縮小規模感が禁じ得ないこと、申し訳なく思っております。その一方、今後は SPSM とは離れた運営となることもあり、また昨今種々の関連会議が多数混雑していることもあり、単独開催時の SPP のあり方などは、ぜひとも、分科会幹事会にて、ご議論いただけます様、お願いいたします。

SPP41 の報告の最後に、以下の先生方の献身的なご協力に、心より感謝申し上げます。

【プログラム委員会委員】（敬称略）上坂裕之（岐阜大）、深沢正永（産総研）、鎌滝晋礼（九大）、竹中弘祐（大阪大）、川口悟（室蘭工大）、桑原彬（名古屋大）、全俊豪（東工大）、田中宏昌（名古屋大）、谷出敦（SCREEN HD.）、伊藤智子（大阪大）

【現地実行委員会委員】（敬称略）副委員長 竹内希（東工大）、会計 全俊豪（東工大）、野崎智洋（東工大）、沖野晃俊（東工大）、村上朝之（成蹊大）、稲田優貴（埼玉大）、北嶋武（防衛大学校）、宗岡均（東大）、中川雄介（都立大）、八井田朱音（東工大）

以上